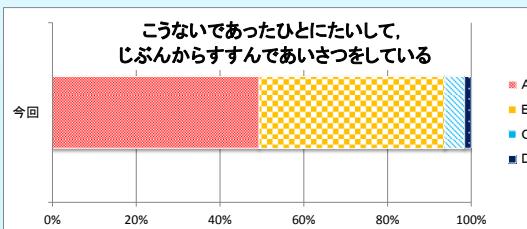


「北白川だより」 学校評価アンケート臨時号

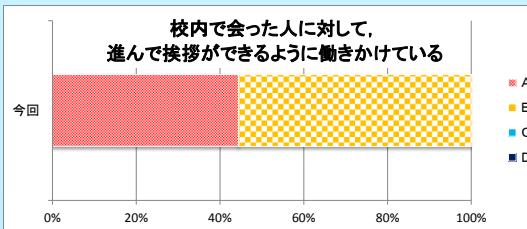
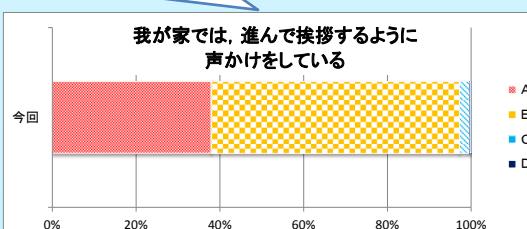
平成29年 11月 1日

京都市立北白川小学校
校長 松本 和文

設問「こうないであったひとにたいして、じぶんからすんであいさつをしている」に対して、約94%の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。



子どもたちを支える保護者・教職員は…



表やグラフから、子どもたちが「校内で会った人に挨拶しよう」と意識していることが伝わってきます。

保護者や地域の方々が「PTA会議室」や「ふれあいサロン」等を利用されているときに、特別教室に移動することや運動場に遊びに出ることなどに気持ちがとられ、挨拶が出来ていない子どもたちの様子も見られることも事実です。

しかし、保護者の皆さんや私たち教職員の結果からも分かるように、「進んで挨拶する」ことの大切さを子どもたちに伝えようとしていることが子どもたちの意識・行動につながっているのだと考えます。

引き続き、子どもたちへの声かけ・働きかけを続けていきたいと考えています。

平成29年度 前期 学校評価アンケート <生活面>

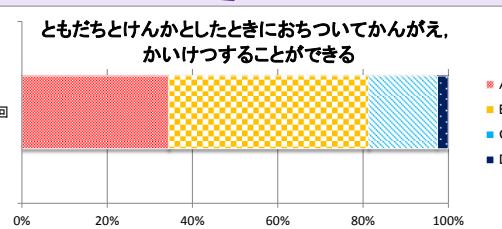
子どもたち	A	B	C	D	保護者	A	B	C	D	教職員	A	B	C	D
こうないであったひとにたいして、じぶんからすんであいさつをしている。	49.4%	44.4%	4.7%	1.6%	我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。	37.9%	59.2%	2.5%	0.3%	校内で会った人に対して、進んで挨拶ができるように働きかけている。	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
ともだちとけんかをしたときに落ちついてかんがえ、かいけつすることができる。	34.5%	46.9%	16.1%	2.5%	我が家では、我が子が友だちとけんかをしたときに落ちついて考え、解決することができるよう話し合っている。	27.6%	62.8%	8.7%	1.0%	友だちとけんかをしたときに落ちついて考え解決することができるよう、道徳(どう解く)等の時間を大切にしている。	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
こまつことは、せんせいやかぞくにそだんしている。	51.7%	29.0%	13.4%	5.9%	我が家では、子どもが話していくことを、しっかり聞くようにしている。	25.1%	64.4%	10.5%	0.0%	子どもたちと会話する機会を積極的に設け、話をしっかり聞くようにしている。	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
ちこくをしないようにとうこうしている。	78.5%	15.6%	5.0%	0.9%	我が家では、我が子がちこくをしないように働きかけている。	60.1%	35.5%	4.2%	0.3%	基本的な生活習慣が定着するように働きかけている。	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
そうじじかん(15ふんかん)、じぶんからすんでそうじをしている。	57.8%	38.1%	3.4%	0.6%	我が子は、自分から進んで手伝いをするように、役割分担を与えている。	16.8%	35.6%	44.8%	2.9%	自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
じぶんのよいところがいえる。	34.6%	33.0%	22.7%	9.7%	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	26.1%	61.5%	12.1%	0.3%	子どものよさを認め、ほめている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

本号は、今年度前期の学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面は、「生活面」についての「表」を載せています。

生活面の設問は全7項目ありますが、特に、「こうないであったひとにたいして、じぶんからすんであいさつをしている」と「ともだちとけんかをしたときに落ちついてかんがえ、かいけつすることができる」について、「グラフ」で示しています。

表のAは「よくできている」、Bは「だいたいできている」、Cは「あまりできていない」、Dは「できていない」を示しています。

設問「ともだちとけんかをしたときに落ちついてかんがえ、かいけつすることができる」に対して、約81%の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。



子どもたちを支える保護者・教職員は…



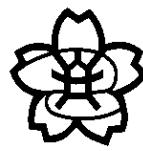
- 今回のアンケートでは、保護者の皆さんに「けんかを解決できるようにご家庭で話題にされていること」について書いていただきました。数多くの記述をありがとうございました。一部になりますが、紹介させていただきます。
- 常に相手の気持ちになって考え（想像して）、行動する【同意見多数】ように言っています。
 - お互いの非を認め合い、素直に謝ることが仲良しの近道であることを話題にしています。
 - けんかは“お互い様である”という立ち位置で話を聞く【同意見多数】ようにしています。
 - 常にやさしい気持ちをもって、自分も相手も大切にできる人に育ってほしい【同意見多数】と思います。
 - 人の得意、不得意に対して善し悪しを決めないように教えています。このような図（右図参照）で、「人にはへこんでいるところも、出っ張っているところもあるが、図のどちらも面積は一緒である」と教えています。
 - 学校には、自分とは違う考え方の友達が沢山いて、友達を認めるように話しています【同意見多数】。多様性を勉強してもらいたいと思っています。
 - 悪気はなくとも相手を困らせてしまったのなら「ごめんね・わざとじゃない」ときちゃんと謝るようにと言っています。これらのことが身に付くように、声かけを続けるようにしています。独りよがりな考えにならないように伝え続けていきたいです。
 - 嫌なことはNOと言ふことを伝えています。それでもやまない時は、一旦その場を離れることを伝えています。家では、しんどいことがあつたら、しっかり話を聞くようにしています。また「話してね」と声をかけています。さらに「けんかをした相手もしんどいことがあったのかもしれないね」と、次日に相手を受け入れられるようにしています。
 - けんかやぶつかり合いなどがあった時には、まず、その状況をよく尋ね、語らせるようにしています。自分で振り返り、口にすることで状況をとらえる【同意見多数】ことができるようになると思うからです。それから、自分はどのように振る舞ったのか、どう思ったのかを語らせ、最終的にはどうすべきであったのかを考えられるよう、共に話し合う【同意見多数】ようにしています。
 - 働きかけに対して、なかなか実現できていないのが現状です。けんかをする機会はほとんどないのですが、何か嫌なことを言われたりされたりして気持ちが乱れた時は切り替えることを優先し、一着いてから対処の方法をアドバイスするようにしています。明らかに相手に非があると思われる場合には、自分はしないように教えています。また、自分で解決することができないと思ったら助けを求める【同意見多数】などを伝えています。
 - 自分がされて嫌なことはひとにしない【同意見多数】ように伝えています。嫌だと思うことをされて、その場でうまく言えなかつた時は、先生や親に相談する【同意見多数】のように話しています。
 - “けんかをしたときに落ちつくる”というのは難しいことですね。親子喧嘩と通じる気がします。人間同士のことなので、感情的になるのも、子どものこととはいえ、わかる気がします。深呼吸をしてみる、少し距離をとつてみることも良いかも知れないと話したことがあります。
 - 極力、その日1日の出来事を聞くようにしています【同意見多数】。けんかだけではなく、だれとどのようなことをして遊んだか、楽しかったか、嫌なことはあったかなです。また、休み時間はどのように過ごしているのかなども話題にして、子どもと会話をしています。



子どもたちが「友だちとけんかをしたときに落ちついて考え、解決することができる」ためには、保護者と学校の双方で、子どもたちの声・気持ちを聴く姿勢が欠かせないと考えています。

保護者の方々が書いてくださった記述の中に「学校で友達といざこざがあった時は、その旨を先生にお伝えして話し合ってもらおうと、お互い納得して仲直りができる」とありました。

「子どもたちの状況を把握すること」「早めの対応の大切さ」等を、今後も教職員で共通理解し、取組を継続していきたいと考えています。

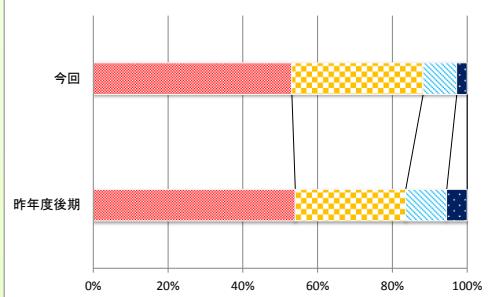


「北白川だより」 学校評価アンケート臨時号

平成 29 年 11 月 1 日
京都市立北白川小学校
校長 松本 和文

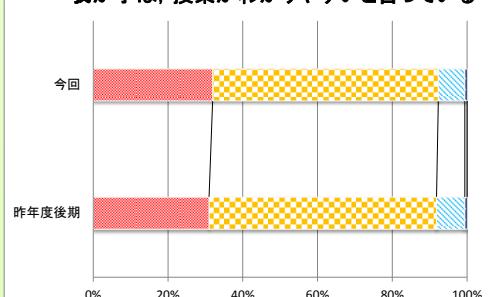
設問「じゅぎょうがわかりやすくていい」に対して、約 88% の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

じゅぎょうがわかりやすくていい

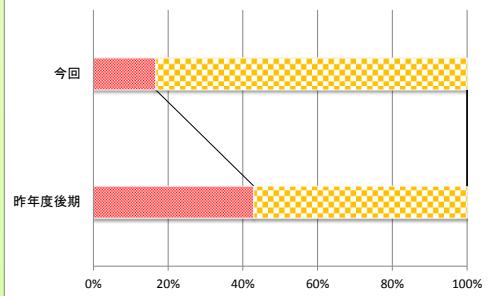


子どもたちを支える保護者・教職員は…

我が子は、授業がわかりやすいと言っている



わかりやすく楽しい授業を実践している



平成 29 年度 前期 学校評価アンケート <学習面> ※今回と昨年度後期の比較

子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
		今年	昨年度後期	今年	昨年度後期			今年	昨年度後期	今年	昨年度後期			今年	昨年度後期	今年	昨年度後期
じゅぎょうがわかりやすくていい。	今年	53.1%	35.1%	9.0%	2.8%	我が子は、授業がわかりやすいと言っている。		31.9%	60.3%	7.1%	0.6%	わかりやすく楽しい授業を実践している。		16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
	昨年度後期	54.0%	29.5%	11.0%	5.5%			31.0%	60.9%	7.6%	0.6%			42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
じゅぎょううちゅう、すすんではっぴょうしている。	今年	35.1%	35.1%	24.2%	5.6%	我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる。		28.0%	53.2%	17.8%	1.0%	意欲的に学習に取り組むことができるよう工夫している。		22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
	昨年度後期	40.4%	27.7%	23.9%	8.0%			32.0%	55.1%	12.4%	0.6%			35.7%	64.3%	0.0%	0.0%
けいさんやかんじのからがみについている。	今年	50.8%	37.1%	10.9%	1.2%	我が子には、読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についている。		28.9%	57.1%	12.1%	1.9%	読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる。		33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	昨年度後期	44.7%	43.7%	10.2%	1.5%			35.7%	52.7%	11.1%	0.6%			33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
いえでじぶんからがくしゅうをしている。	今年	61.8%	24.5%	11.0%	2.8%	我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。		54.0%	40.6%	4.8%	0.6%	家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。		27.8%	72.2%	0.0%	0.0%
	昨年度後期	50.7%	31.5%	14.6%	3.3%			28.7%	53.3%	16.1%	1.9%			33.3%	53.3%	13.3%	0.0%
ほんをよくよんでいる。	今年	57.5%	23.6%	14.6%	4.3%	我が家では、本を読むことが定着するように働きかけている。		28.3%	34.0%	31.1%	6.7%	読書の習慣が定着するように働きかけている。		38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
	昨年度後期	57.4%	23.8%	11.9%	6.9%			28.9%	36.2%	30.6%	4.3%			21.4%	64.3%	14.3%	0.0%

設問「いえでじぶんからがくしゅうをしている」に対して、約 86% の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。子どもたちの意識の向上と共に、保護者の皆さんと教職員の声かけ・働きかけが子どもたちに響いている成果だととらえています。

改めて、家庭学習の定着のために「家庭学習のめやす（時間）」と「家庭学習例」を以下に紹介できればと思います。

家庭学習（自学自習）の定着のために！

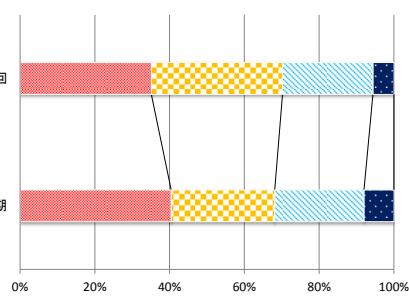
低学年（1・2年生）30分以上	中学年（3・4年生）45分以上	高学年（5・6年生）60分以上
<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読は、楽しみながら、大きな声で読むことができるようになる。 ・音読は、句点（。）や読点（。）に気を付けて、すらすら読むことができるよう練習する。 ・「ひらがな」「カタカナ」「漢字」の書き順や、文字の形に気を付けて書く。 ・正しい姿勢で、ていねいにゆっくり書く。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく計算できるように、練習をする。正しくできるようになったら、早く計算できるように練習をする。 ・間違った問題は、必ずやり直す。 ・数を読み上げる。（1, 2, 3…）（10, 9, 8…）など。 ・これまで学習したことを活かして解けないか、他の方法で解けないかを考える。 <p>⇒過去の「全国学力・学習調査」で正答率が低かった領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習したことを活かして解けないか、他の方法で解けないかを考える。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を活用して、都道府県名やその位置を覚える。 ・200字以内や400字以内といったように、決められた条件で日記や作文など、文章を書く。 ・リコーダーや鍵盤ハーモニカ・縄跳びなどの練習をする。 	<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、音読する。 ・習った漢字の意味を国語辞典で調べる。 ・漢字を正しい書き順で、「とめ・はね・はらい」に気を付けて、正確に書いたり読んだりできるようになる。 ・漢字は单一文字ではなく、送り仮名を付けたり、熟語で覚えたりする。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式や計算方法など、覚えるべきものをノートに記す。 ・かけ算・わり算などの計算に慣れるよう、毎日練習する。 ・図形も分度器・三角定規・コンパスを正しく操作できるよう、作図など練習する。 	<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、音読する。 ・習った漢字の意味を国語辞典で調べる。 ・漢字を正しい書き順で、「とめ・はね・はらい」に気を付けて、正確に書いたり読んだりできるようになる。 ・漢字は单一文字ではなく、送り仮名を付けたり、熟語で覚えたりする。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式や計算方法など、覚えるべきものをノートに記す。 ・かけ算・わり算などの計算に慣れるよう、毎日練習する。 ・図形も分度器・三角定規・コンパスを正しく操作できるよう、作図など練習する。

今年度、校内研修会では「わかりやすく楽しい授業とは何か」「受け身ではなく、主体的に学ぶ授業とは何か」「学び合いとはどのような姿か」等について話題にしたり、全国学力・学習状況調査を分析したりして、研修を深めているところです。また、保護者から「計算・算数に関して、苦手意識が芽生え、意欲的に取り組むことができていません」という言葉もいただいています。このことを真摯に受けとめ、1問1答の学習ではなく、指導者の指示や発問が、子どもたちにじわじわと広がっていく学習を目指していきたいと考えています。

裏面は、「学習面」について昨年度後期と比較した「表」を載せています。学習面の設問は全5項目ありますが、特に、「じゅぎょうがわかりやすくていいの」「じゅぎょううちゅう、すすんではっぴょうしている」について、掲載しています。表のAは「よくできている」、Bは「だいたいできている」、Cは「あまりできていない」、Dは「できていない」を示しています。

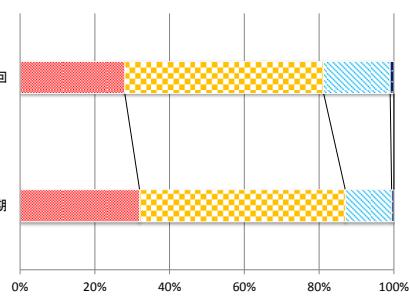
設問「じゅぎょううちゅう、すすんではっぴょうしている」に対して、約 70% の割合で、子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

じゅぎょううちゅうすすんではっぴょうしている

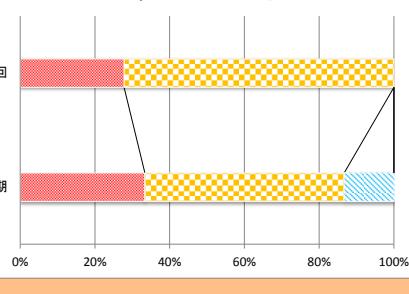


子どもたちを支える保護者・教職員は…

我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる



家庭学習の習慣が定着するように働きかけている



皆様からいただいた要望・感想についても教職員が共通理解を図るとともに、10月17日（火）の「学校運営協議会理事会」においてお知らせをさせていただきました。子どもたちの成長のために学校と保護者が連携してよりよい取組を進められますよう、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後も、よろしくお願い申し上げます。